

使用前にこの説明文書を必ずお読み下さい。  
また、必要な時に読めるよう大切に保管して下さい。

## 第2類医薬品

解熱鎮痛薬(ピリン系)イソプロピルアンチピリン・イブプロフェン配合



頭痛・発熱・生理痛に

### サリドンWiの特徴

- よく効く解熱鎮痛成分イソプロピルアンチピリン(IPA)とイブプロフェン(IB)のW(ダブル)効果で、今ある痛みと痛みのもとに速く効きます。
- 1回1錠だけの服用ですぐれた効果を発揮します。
- 眠くなる成分を配合していません。



### 使用上の注意

#### ❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

#### 1. 次の人は服用しないで下さい。

- (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人
- (2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人
- (3) 15歳未満の小児

\* (4) 出産予定日12週以内の妊婦

#### 2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないで下さい。

他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬

#### 3. 服用前後は飲酒しないで下さい。

#### 4. 長期連用しないで下さい。



#### 相談すること

#### 1. 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

- (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人
- (3) 授乳中の人
- (4) 高齢者
- (5) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人
- (6) 次の診断を受けた人

心臓病、腎臓病、肝臓病、全身性エリテマトーデス、混合性結合組織病

#### (7) 次の病気にかかったことがある人

胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン病

#### 2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性がありますので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ、青あざができる
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振、胃部不快感、胃痛、口内炎、胸やけ、胃もたれ、胃腸出血、腹痛、下痢、血便
精神神経系	めまい
循環器	動悸、息切れ
その他	目のかすみ、耳なり、むくみ、鼻血、歯ぐきの出血、出血が止まりにくい、出血、背中痛み、過度の体温低下、からだがだるい

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けて下さい。

症状の名称	症状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。
無菌性髄膜炎	首すじのつっぱりを伴った激しい頭痛、発熱、吐き気・嘔吐等の症状があらわれる。(このような症状は、特に全身性エリテマトーデス又は混合性結合組織病の治療を受けている人で多く報告されている)
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらっとする、血尿等があらわれる。
無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。

#### 3. 服用後、次の症状があらわれることがありますので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

便秘

#### 4. 5~6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

## 効能・効果

- 頭痛・月経痛(生理痛)・歯痛・抜歯後の疼痛・咽頭痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・ねんざ痛の鎮痛
- 悪寒・発熱時の解熱

## 用法・用量

年齢	1回量	1日服用回数
成人(15歳以上)	1錠	2回を限度とし、なるべく空腹時をさけて水又はお湯で服用して下さい。 (服用間隔は6時間以上おいて下さい)
15歳未満	服用しないで下さい。	

### 〈用法・用量に関連する注意〉

(1)用法・用量を厳守して下さい。

(2)錠剤の取り出し方

図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して、裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用して下さい。  
(誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります)



## 成分・分量

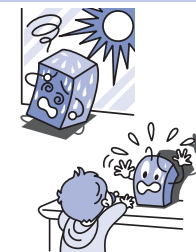
本剤は、白色の錠剤で、1錠中に次の成分を含有しています。

成分	分量	はたらき
イソプロピルアンチピリン (ピリン系)	150mg	痛み・熱の伝わりをおさえます。
イブプロフェン	50mg	痛み・熱のもと(原因物質の発生)をおさえます。
無水カフェイン	50mg	鎮痛成分のはたらきを助けます。

添加物:クロスCMC-Na、ヒプロメロース、セルロース、無水ケイ酸、ステアリン酸Mg、タルク、乳糖

## 保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管して下さい。
- (2)小児の手の届かない所に保管して下さい。
- (3)他の容器に入れ替えないで下さい。(誤用の原因になったり品質が変わります)
- (4)表示の使用期限を過ぎた製品は使用しないで下さい。



本品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店又は下記にお願い致します。  
第一三共ヘルスケア株式会社 お客様相談室  
〒103-8234 東京都中央区日本橋3-14-10  
電話 03(5205)8331  
受付時間 9:00~17:00(土、日、祝日を除く)

<http://www.daiichisankyo-hc.co.jp/>

®登録商標



製造販売元

第一三共ヘルスケア株式会社

Daiichi-Sankyo 東京都中央区日本橋3-14-10